

ユネスコ創造都市の活性化に向けた今後の方向性について

1. ユネスコ創造都市の概要

- ・2004年に始まったユネスコの事業。90か国以上295都市。国内では10都市が登録。7分野(文学、映画、音楽、クラフト&フォークアート、デザイン、メディアアート、食文化)のいずれかに分類。
- ・創造性を核とした都市間の国際的な連携によって、地域の創造産業の発展を図り、都市の持続可能な開発を目指す。各都市は国内外のネットワークを活用し、知識・経験の交流、人材育成、プログラム協力などを行う。

2. ユネスコ創造都市に関するこれまでの取組

① 地方自治体

- ・地元の民間団体・企業等と連携をしながら、地域創生や国際交流等に資する取組を実施。
- ・ユネスコ創造都市ネットワーク(以下、UCCN)の国際会合(年1回)への参加と、国内加盟都市間のネットワーク(以下、UCCN国内ネットワーク)の会合を年1回開催し、各都市の取組及び課題の共有と意見交換を実施。合同イベントの実施や共通SNSによる情報発信。

② 文部科学省(国際統括官付)

- ・ユネスコ創造都市に関する対外的な窓口(国内公募・選定・ユネスコへの申請等)

3. 文化芸術創造都市の概要

2007年以降、文化庁では、文化芸術の持つ創造性を活かして地域振興、観光・産業振興等に領域横断的に活用し、地域課題の解決に取り組む地方自治体を支援。現在は、2013年に発足した「創造都市ネットワーク日本(CCNJ)」(以下、CCNJ)を通じた支援を中心としている。

① 地方自治体

- ・地元の民間団体・企業等と連携をしながら、地域創生や国際交流等に資する取組を実施。
- ・国内及び世界の創造都市間の連携・交流を促進するためのプラットフォーム(CCNJ)において、年1回会合を開催。

② 文化庁

- ・CCNJのネットワーク機能強化のための支援事業や文化芸術の持つ創造性を活かして地域振興、観光・産業振興等に寄与する取組を支援(公募による個別自治体への事業支援)、その他、文化庁長官表彰(文化芸術創造都市部門)や、関係の深い取組として、東アジア文化都市の交流を促進する事業を実施。

ユネスコ創造都市の活性化に向けた今後の方向性について ②

3. ユネスコ創造都市の活性化に向けた今後の方向性



① ユネスコ創造都市における今後の取組

・UCCN国内ネットワークの活性化に向けて、他の好事例を積極的に研究し、国内及び国際交流を活性化していくことが大切。

→【議論いただきたい点】

○ UCCN国内ネットワークの活性化や、その先にある創造性を核とした都市間の国際的な連携に向けて、どのような方策が考えられるか。

○ CCNJとの連携をどのように実施するか。



② 文部科学省の今後の取組

A ユネスコ創造都市に対する支援

→ ユネスコ創造都市の取組を積極配信、ユネスコ関連の取組との連携促進、フォロー等を実施。

B ユネスコ創造都市を希望する地方自治体(文化芸術創造都市等)に対する支援

→ CCNJや文化庁との連携を深め、我が国としてふさわしいユネスコ創造都市の育成・創出を後押し。

<具体的な取組(案)>

文部科学省

- ユネスコの各種取組を掲載している「ユネスコ未来共創プラットフォームポータルサイト」に、ユネスコ創造都市の各種取組をこまめに掲載。
- ユネスコスクール(特に登録地域の加盟校)に対し、ユネスコ創造都市に関する情報(学習素材)を提供。教育活動の更なる深化を促すとともに、ユネスコ創造都市の活動への若者の参加を促す。
- 他の行政への積極的なアプローチや情報収集(地方創生関係部局等)、その結果をユネスコ創造都市へ共有
- CCNJに対して、UCCNに関する情報(目的、制度、活動、国際ネットワークを通じた海外の情報等)の積極的な発信及び関心のある自治体からの相談対応 等

文化庁

- ・CCNJのネットワーク機能強化のための支援事業をより効果的に進めるため、CCNJや文部科学省等との連携を強化。
(例: 次の取組を行う際、文部科学省とともに必要な調整を実施(ユネスコ創造都市の取組をCCNJにおいて積極配信、ユネスコ創造都市に関心を示すCCNJ加盟自治体の相談にのる(間をつなぐ) 等))
- ・公募による個別自治体への事業支援、文化庁長官表彰(文化芸術創造都市部門)や、東アジア文化都市の交流促進事業等をより効果的に実施。

→【議論いただきたい点】

○ 上記の他、国として取り組むべきことについてご意見をいただきたい。

參考資料

参考1:ユネスコ創造都市

1. 概要

- ・ユネスコの事業として2004年に創設。創造性(creativity)を核とした都市間の国際的な連携によって、地域の創造産業の発展を図り、都市の持続可能な開発を目指すもの。各都市は同ネットワークを活用し、知識・経験の交流、人材育成、プログラム協力などを行う。
- ・世界の加盟都市は90か国以上295都市(2021年11月現在)で、7分野(文学、映画、音楽、クラフト&フォークアート、デザイン、メディアアート、食文化)のいずれかに分類されている。
- ・文部科学省は、ユネスコの公募開始に伴い、国内委員会から国内公募を実施し、選考WGにて国内推薦を決定。申請自治体は国内委員会からの推薦書とともに申請書類をユネスコに提出している。

2. 国内のユネスコ創造都市(10自治体(2021年11月現在))

※ 全て文化芸術創造都市と重複

神戸市(デザイン)、名古屋市(デザイン)、金沢市(クラフト&フォークアート)、札幌市(メディアアート)、鶴岡市(食文化)、浜松市(音楽)、丹波篠山市(クラフト&フォークアート)、山形市(映画)、旭川市(デザイン)、臼杵市(食文化)

参考2:文化芸術創造都市

1. 概要

- ・文化芸術創造都市とは、文化芸術の持つ創造性を活かして地域振興、観光・産業振興等に領域横断的に活用し、地域課題の解決に取り組む地方自治体。
- ・文化庁は、文化芸術創造都市の取組を促進するため、創造都市の取組を推進する(または推進しようとする)国内及び世界の創造都市間の連携・交流を促進するためのプラットフォームである「創造都市ネットワーク日本(CCNJ)」のネットワーク機能強化等に資する支援事業を実施するとともに、優れた取組みを行う自治体に対する表彰制度を設けている。また、関係の深い取組として、東アジア文化都市の交流促進のための事業を実施している。

2. CCNJ加盟団体数(2020年度末現在)

- ・158団体(117自治体)